◆ 2023年度中学入試 帰国 算数 正答率・問いのねらい・講評

大		正智	李 率		
問	問	受験者	合格者	問いの内容・ねらい	講評
	(1)	90.2%	96%		(4)の正答率が他日程と比べて低い。計算の工夫を必要と
	(2)	95.1%	96%	み合わせの四則演算 ・計算の工夫	する問題は、例年8割弱程度の正答率が見られる問題なので、受験生の対策が不足していたと思われる。
1	(3)	82.9%	92%	・基本的な計算ができるかどうか。	
	(4)	65.9%	84%		
	(5)	85.4%	88%		
	(1)①	61.0%	80%	・特殊算の基本的な文章問題 ・図形の基本問題	(1)は距離の問題だったが、①②ともに思いのほか正答率が低い。本校の過去問においても、同様の解法を必要とし
	(1)②	51.2%	72%	・凶ルの季本川超	た問題は多いので、受験生には過去問演習に取り組みつ
	(2)①	82.9%	92%		つ、距離や代金などいろいろなパターンでの演習もしても
	(2)②	63.4%	80%		らいたい。 (3)は割合と個数の標準的な問題であったが、予想以上に
	(3)①	39.0%	52%		正答率が低い。こちらも本校でよく見かける問題形式なの
2	(3)②	34.1%	40%		で、過去問演習にしっかりと取り組んでもらいたい。 (6)②は空間図形だが、極端に正答率が低い。空間図形を
	(4)①	73.2%	88%		苦手とする受験生は多いと予想するが、苦手単元をなくす
	(4)②	58.5%	68%		よう、まんべんなく対策してほしい。
	(5)①	39.0%	40%		
	(5)②	26.8%	36%		
	(6)①	73.2%	84%		
	(6)②	17.1%	24%		
3	(1)	56.1%	72%		(2)は正答率が10%を切っており、受験生にとって難易度
3	(2)	9.8%	16%		の高い問題であったと予想する。
	(1)ア	87.8%	100%	与えられた条件を整理し、数の組合 わせを推理できるか。理由を人に伝	(1)のア〜オは、予想以上に正答率は高かった。問題文の誘導に従って、複数の条件の中から必要な条件を選び、筋
	(1)イ	85.4%	96%	わる文章で書けるか(記述)。	道立てて考えることができたと予想する。
	(1)ウ	03.470	9070		(1)のカ・キは記述問題で、解答を見た限り、直接的な理由が何かを意識して丁寧に説明できれば、より正答につな
	(1)エ	90.2%	100%		がったと感じられる。
4	(1)オ	30.270	10070		
	(1)カ	61.0%	64%		
	(1)+	01.070	U T / U		
	(1)ク	53.7%	52%		
	(2)	22.0%	28%		
	(1)	41.5%	44%	グラフから二人の進み方を読み取る ことができるか。	(2)については正答率は低いが、本校の過去問において、 類題が出題されていることから、過去問演習を通して、グ
5	(2)兄	14.6%	24%	CCN (C & N)	ラフから必要な情報を読み取れるようにしておきたい。
	(2)妹	22.0%	32%		

◆ 2023年度中学入試 帰国 英語 正答率・問いのねらい・講評

大	問	正智	率	問いの内容・ねらい	講評
問	[F]	受験者	合格者		
	1	68.3%	72%	基本語彙(2)と文法項目(1)(3)(4)(5)につい	英検 3 級相当の(1)であるthan any other 名詞の単数形
	2	46.3%	64%	ての出題。文法項目は知識として知っているかが問われている。	以外は結果が芳しくなかった。コロケーションとしての (2)(3)(5)は、学習の経験が正答率に影響をしたと思われ
1	3	19.5%	28%		る。(4)は知識として知っているかが問われているが、正
	4	29.3%	36%		答率からすると学習したことのある受験生は少なかったよ
	5	53.7%	72%		うだ。
	1	73.2%	84%	簡単な対話における適切な受け答えの補	どの問題も良好であった。しっかりと会話の場面を想像す
П	2	97.6%	1000/		る力が備わっているようだ。
	3	90.2%	96%	た。	
	1	82.9%	92%	海外では頻繁にあるパーティーを話題とし	受験生全体として正答率が高かった。これは大問2と同
	2	85.4%	0.60/	た複数人による会話。文脈の中でキーとなる単語を拾い、主題を見つけることが問わ	様、会話の場面設定を想像する力が備わっていることが伺
III	3	95.1%		る 半 話 を 拍 い、 主 越 を 兄 ブ け る こ と が 向 わ れ た。	える。
	4	92.7%	100%		
	5	92.7%	100%		
	1	17.1%	24%	文法に即した英文を作ることができるかを	(1)は英検4級相当の感嘆文ではあるが、正答率が低いの
IV	2	63.4%	Q N 0/2	問うている。日本語が与えられていない 分、文法だけでなく語彙(イディオム)の	は使用機会が少ないからだと思われる。それに対して (2)(3)は英検準2級程度である使役動詞や仮定法に関する
	3	46.3%		知識があるかも問われた。	もので、こちらが想定した範囲での正答率となった。
	1	68.3%	64%	アメリカの古着屋に関する記事を読み、答	受験生全体の正答率が50~60%代にとどまった理由とし
	2	65.9%	O N 0/	える問題。全て選択肢より選ぶため、難しい表現をスキップしてでも立脈が捉えられ	て、「古着」という話題に受験生がイメージしにくかった ことも考えられる。イメージを捉えられないが故に、全体
V	3	51.2%		るかを問うた。	の正答率もそこまで振るわなかったと考えらえる。特に (4)は全て基本英単語であるため、正答率が50%代となる
	4	58.5%	72%		
	5	46.3%	64%		と、基本英単語の知識がままならない受験生も半数いたと 考えられる。
	1	43.9%	52%	睡眠に関する英文とグラフから内容を読み	(1)のように未知語類推に対する取り組みが予想以上に正
	2	73.2%	84%	とる。事実と意見の区別が読み取れるかを 問うた。	答率が高かった。前後の文脈から意味を類推する力はあると感じられた。(4)の記述問題は要点が3つ、しっかりと
	3	82.9%	100%	HJ / /C₀	伝わる日本語で書けているかが勝負となったため、記述力
	4	32.1%	1		のない受験生はつらい結果となった。
VI	5-1	87.8%	96%		
	5-2	70.7%	80%		
	5-3	87.8%	96%		
	5-4	53.7%	2		
VII		30.2%		小学校時代に努力したこととそこから学ん だとこと、中学生になって頑張りたいこと とその理由について問うた。	全体的に英作文の質が低かった。単語のつづりミスだけでなく、基本的な英文構造が破綻している受験生も多く、書くことに慣れていない受験生が多々見られた。
		O == \ 1\ 1		うち平均2.44占	

①記述6点分のうち平均2.44点

②英作文15点分のうち平均5.72点

◆ 2023年度中学入試 第1回 国語 正答率・問いのねらい・講評

1	大		正答	李玄		
② 89% 92% 96% 3 96% 3 96% 3 96% 3 6は「イイキュレいとよがない」という言い回しの台 20 73% 85% 4 全自を知らない要験生がいるかもしれない。 当という活象に関わていないと想定していたようである。特に「枚字」という活象に関わていないと想定していたがよくできていた。 ② 73% 55% 40% 3 93% 3 93% 3 93% 3 95% 3 95% 40 85% 92% 3 95% 96% (株産出し) 反対の意味を持つ選手の二字熟稿と判断していたがよくできていた。 「信い」のもつ文化や社会性に基づく評論人、地態度がやや高く、小頭に比全なんとして正確著が低かったが、耐力・開していることも必要。 「信い」のもつ文化や社会性に基づく評論人、地態度がやり高く、小頭に上の全体として正確著が低かったが、耐力・開していることを必要。 「信い」のもつ文化や社会性に基づく評論人、地態度がやり高く、小頭に上の全体として正確著が低かったが、耐力・開していることを記して当時できるかを問う问題。本文中の22% 信仰と同いることも必要。 「信い」のもつ文化や社会性に基づく評論人、地態度がやり高く、小頭に上の全体として正確著が低かったが、耐力・開していることを認定はいない。 「信い」のもの本きではいけない。 ことに住じ人がが「くさい」を適か出した約束の」と対しているとを表します。 「信い」と対しているとを表します。 ことに住じ人がが「くさい」を認定した。 ことに住じ人がが「くさい」を認定した。 ことに使じ人がが「くさい」を認定した。 ことに使じ人をが「くさい」を認定した。 ことに関したい。 利は自定したい。 利は自定したい。 利は自定したい。 利は自定したい。 利は対したい。 利は対したい。 利は自定したい。		問			問いの内容・ねらい	講評
③ 96% 96% 96% 96% 473% 85% 在自体を知らない受験生がいるかもしれない。 15 15 15 15 15 15 15 1		1	75%	83%	〈書き取り〉小学校4~6年性で習う漢字が書けるかど	漢字の書き取りについてはしっかりと
 ① 73% 85% ⑥ 77% 82% ⑥ 93% 93% ⑦ 85% 92% ⑧ 95% 96% Ⅲ 86% (株き出し) 反対の意味を持つ選字の二字熟歴と判断 (元号) 傾用的な語句の意味を同う課題。本文の展開を 押止していることも必要。 (公母) 解用的な語句の意味を同う開題。本文の展開を 押止していることも必要。 (公母) 解用的な語句の意味を同う開題。本文の展開を 押止していることも必要。 (公母) 解示している内容を探えて、抜き出した販売の間 37% 39% 人の場所を正く手動できるかる円う同題。 (公母) 解示している内容を探えて、抜き出した販売の前面 37% 39% 人の場所を正く手動できるかる円う同題。 (公母) 変化があるまます。このは、変化がある場合にとっての「表現していることを犯知らず身につけたわらにすぎないからしたない、その文の初めのうきを答える。 (公母) 変化がある集積を行り方のが必要。 (公母) 変化があるよおいでは、文化の影響もあるという主張が捉えられているかを問う。 (公母) 変化が表現の本実中における意味を開り地を できているかを問う。 (公母) 変化が過去を表現しているとのご都が表現しているとのご都が表現しているという主張が捉えられているかを問う。 (公母) あるという主張が捉えられているかを問う。 (公母) 変ないて似た表別の世界を提出をしているという連びではなかったも とを選ける力が必要。 (公母) あるにおいてもいたのじないでは、文化の影響もあるという主張が捉えられているかを問う。 (公母) 変ないないまないでは、文化の影響もあるという主張が捉えられればいるかを問う。 (公母) 変ながよれない語を対しが表現しているいでもことを選がする状況においるがあられたないなが、おそらく内容は読めていないこと に気付けるを問う。 (公母) 変なが、おそらく内容は読めていないこと に気付けるを問う。 (公母) 主人公の心性を展開の意、特神的に困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態がありませまからと、 (公母) 主人公の心性を展開で、公母) (公母) ま人中では関節を対していないこと (公母) 主人公の心性を展開を表しまれましましましましましましましましましましましましましましましましましまし		2	89%	92%	うかを試す。Bは同音異字を書く受験生がいるであろ	準備していたようである。特に「枚
 ① 73% 85% ⑥ 77% 82% ⑥ 93% 93% ⑦ 85% 92% ⑧ 95% 96% Ⅲ 86% (株き出し) 反対の意味を持つ選字の二字熟歴と判断 (元号) 傾用的な語句の意味を同う課題。本文の展開を 押止していることも必要。 (公母) 解用的な語句の意味を同う開題。本文の展開を 押止していることも必要。 (公母) 解用的な語句の意味を同う開題。本文の展開を 押止していることも必要。 (公母) 解示している内容を探えて、抜き出した販売の間 37% 39% 人の場所を正く手動できるかる円う同題。 (公母) 解示している内容を探えて、抜き出した販売の前面 37% 39% 人の場所を正く手動できるかる円う同題。 (公母) 変化があるまます。このは、変化がある場合にとっての「表現していることを犯知らず身につけたわらにすぎないからしたない、その文の初めのうきを答える。 (公母) 変化がある集積を行り方のが必要。 (公母) 変化があるよおいでは、文化の影響もあるという主張が捉えられているかを問う。 (公母) 変化が表現の本実中における意味を開り地を できているかを問う。 (公母) 変化が過去を表現しているとのご都が表現しているとのご都が表現しているという主張が捉えられているかを問う。 (公母) あるという主張が捉えられているかを問う。 (公母) 変ないて似た表別の世界を提出をしているという連びではなかったも とを選ける力が必要。 (公母) あるにおいてもいたのじないでは、文化の影響もあるという主張が捉えられているかを問う。 (公母) 変ないないまないでは、文化の影響もあるという主張が捉えられればいるかを問う。 (公母) 変ながよれない語を対しが表現しているいでもことを選がする状況においるがあられたないなが、おそらく内容は読めていないこと に気付けるを問う。 (公母) 変なが、おそらく内容は読めていないこと に気付けるを問う。 (公母) 主人公の心性を展開の意、特神的に困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態が取りませまからに困難な状況にあることの直切な形態がありませまからと、 (公母) 主人公の心性を展開で、公母) (公母) ま人中では関節を対していないこと (公母) 主人公の心性を展開を表しまれましましましましましましましましましましましましましましましましましまし		3	96%	96%	う。Cは「マイキョにいとまがない」という言い回しの存	挙」という語彙に慣れていないと想定
③ 77% 82% ⑥ 93% 93% 93% ③ 95% 96% □ 81% 86% 人。		4	73%	85%	在自体を知らない受験生がいるかもしれない。	していたがよくできていた。
 ② 93% 93% ② 85% 92% ③ 95% 96% 前一 81% 86% (徒き出し)反対の高峡を持つ漢字の二字射器と判断 (表記) 49% 一 49% 49% 一 49% 49% 一 第版していることも必要。 (公司・ 運用的な音句の高味を問う問題。本文中の (公司・ 運用的な音句の高味を問う問題。本文中の 音句に引っ張られすきてはいけない。 (公司・ 運用のようか) 40% 一	-	-		82%		
一						
第		_				
1						
初二						
田二 49% 49% 横用的な熱質の意味を飼う問題。本文の展開を 担握していることも必要。					し、週別な戻于と本久中かり扱き山外问题。	
10					〈記号〉慣用的な語句の意味を問う問題。本文の展開を	
関三 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 22% 23%		問二	49%	49%	把握していることも必要。	
問回 22% 22% 認句に引っ張られすきてはいけない。						
同四 37% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 39% 30		問二	22%	22%	〈記号〉 聿者の抱いた感想の埋田を問う問題。本文中の	
周四 37% 39% 40% A3M A3M A4% A4%		IHJ —	2270	2270	語句に引っ張りれすきてはいけない。 	
同五 31% 33% 33% 33% 33% 34% 40% 34% 40% 34% 40% 34% 40% 34% 40% 34% 40% 34% 34% 40% 34%						
関五 34% 40%		問四	37%	39%	入る場所を正しく判断できるかを問う問題。	
田五 34% 40% その文の初めの5字を答える。						
間大 85% 86% 〈記号〉整備に適語を挿入する問題。文章の展開が把握できているかを問う。 間七 38% 43% 43% 互いに似た表現の英異も見分ける力が必要。 間八 22% 22% 置もあるという主張が捉えられているかを問う。 長期入院中の男の子が短期入院の子と署もあるという主張が捉えられているかを問う。 間九 44% 54% 家である筆書の持つ願望を説明させる問題。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもおう。設備とよる力を認定する気持ちに気付きたい。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍豚部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。 間三 94% 93% 画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 協場 (配号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 間うた。 間四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適立に読み取れているかを問う。 間方た。 間カー 77% 82% 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 間カー 76% 78% 人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 間も 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 またしたる主がより、これではまたいまたないがまたいまたないがまたないがまたまたの言葉を持ちないまたがまたまた。 100 100 またり、解析を書であるがい子に対する、先輩にあたる主がまたがまたまた。 100 100 またり、これではまたないまたないまたないまたないまたないまたないまたないまたないまたまたないまたない	1_	問工	2/10/	1∩0/		規」に言及したい。
間大 85% 86% できているかを問う。 間七 38% 43% 互いに似た表現の差異も見分ける力が必要。 間入 22% 22% 22% 製力を設定した。 22% 22% 製力を設定した。 22% 22% 製力をおるという主張が捉えられているかを問う。 22% 22% 製力を表している。 22% 23% 長期入院中の男の子が短期入院の子と関連を説明させる問題。 22% 23% 長期入院中の男の子が短期入院の子と表別れずる物語。状況が捉えられれば、 22% 23% <td< td=""><td>_</td><td>间土</td><td>34%</td><td>40%</td><td>その文の初めの5字を答える。</td><td></td></td<>	_	间土	34%	40%	その文の初めの5字を答える。	
間大 85% 86% できているかを問う。 間七 38% 43% 互いに似た表現の差異も見分ける力が必要。 間入 22% 23% 22% <					〈記号〉空欄に滴語を挿入する問題 文音の展開が押据	
間七 38% 43% 互いに似た表現の本文中における意味を問う。		問六	85%	86%		
間七 38% 43% 互いに似た表現の差異も見分ける力が必要。 間八 22% 22% 響もあるという主張が捉えられているかを問う。 間九 44% 54% 家である筆書の持つ顧望を説明させる問題。 間一 91% 95% 該わされない語彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は(二)ほど困難ではなかったもとを避ける気持ちに気付きたい。 間二 41% 45% 会員会主人公の心情把握問題。本心があらわになることを避ける気持ちに気付きたい。 大のの状況を手掛かりにして、本文に直接表現の本文中における意味を問う。接表現されていない心情を捉える力を問う。 間三 94% 93% 画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 機表現されていない心情を捉える力を問うた。 間四 85% 89% 公局号 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 (記号)主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 間方 77% 82% おのよろの心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 間七 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 まることの適切な把握が必要。 (記号) 手に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 まることの適切な把握できるかを問う。 (記号) 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ						
問八 22% 22% 響もあるという主張が捉えられているかを問う。 (論述) 自己の私的な表現を、共同化したいという劇作家である筆書の持つ願望を説明させる問題。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れずる物語。状況が捉えられれば驚まれない話彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れずる物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。 同二 41% 45% と参選ける気持ちに気付きたい。 「同二 41% 45% と適けな気持ちに気付きたい。 「同二 41% 45% と適けな気持ちに気付きたい。 「同二 41% 45% と適けな気持ちに気付きたい。 「同二 54%						
問八 22% 22% 響もあるという主張が捉えられているかを問う。 (論述) 自己の私的な表現を、共同化したいという劇作家である筆書の持つ願望を説明させる問題。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れずる物語。状況が捉えられれば驚まれない話彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れずる物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。 同二 41% 45% と参選ける気持ちに気付きたい。 「同二 41% 45% と適けな気持ちに気付きたい。 「同二 41% 45% と適けな気持ちに気付きたい。 「同二 41% 45% と適けな気持ちに気付きたい。 「同二 54%		問七	38%	43%	互いに似た表現の差異も見分ける力が必要。	
問八 22% 22% 響もあるという主張が捉えられているかを問う。 問九 44% 54% (論述) 自己の私的な表現を、共同化したいという劇作家である筆書の持つ願望を説明させる問題。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもまり。設計する気持ちに気付きたい。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。 問三 94% 93% 慣用的な表現の本文中における意味を問う。漫画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 接表現されていない心情を捉える力を問うた。 問四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 (記号) 主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 問方 77% 82% なるよとの適切な把握が必要。 問力 76% 78% 人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 問し 76% 78% (記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 問わ 76% 78% (記号) 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ						
問力 44% 54% (論述) 自己の私的な表現を、共同化したいという劇作家である筆書の持つ願望を説明させる問題。 長期入院中の男の子が短期入院の子と認力な必要。 問一 91% 95% 感わされない語彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解されない語彙力が必要。 問二 41% 45% (記号〉主人公の心情把握問題。本心があらわになることを避ける気持ちに気付きたい。 とを避ける気持ちに気付きたい。 とを避ける気持ちに気付きたい。 とを避ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気持ちに気付きたい。 とを過ける気味を問う。浸していない心情を握える力を問う。 とを過けるがはいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問うた。 で記号〉主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 (記号) 主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 おとの心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 人公の心情を把握できるかを問う。 (記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 (記号) 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ (記号) 6人中と人は、本文の解釈が明らかになる。 (記号) 6人中と人は、本文の解釈が明らかになる。 (記号) 6人中と人は、本文の解釈が明らかになる。 (記号) 6人中と人は、本文の解釈が明られば、解釈が明		問八	22%	22%		
間九 44% 54% 家である筆書の持つ願望を説明させる問題。 間一 91% 95% (記号)主人公の心情把握問題。選択肢の曖昧な表現に 惑わされない語彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば 解答は (二)ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されているが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 と気付けるかを問う。 (記号) 慣用的な表現の本文中における意味を問う。 接表現されていない心情を捉える力を問うた。 間四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問うた。 間五 93% 95% (記号) 主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 (記号) 主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 間六 77% 82% (記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 間十 76% 78% (記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 またないの情に困難な状況にあることの適切な把握できるかを問う。 (記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。		1-17	2270	2270	響もめるという王張が捉えられているかを向う。	
間一 91% 95% 墓力なんない語彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。 間二 41% 45% とを避ける気持ちに気付きたい。 接表現されていない心情を捉える力を問う。浸面を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 間四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問うた。 間五 93% 95% 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 間方 77% 82% (記号) 主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 間十 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 は日子 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ					〈論述〉自己の私的な表現を、共同化したいという劇作	
間一 91% 95% 墓力なんない語彙力が必要。 長期入院中の男の子が短期入院の子とお別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。 間二 41% 45% とを避ける気持ちに気付きたい。 接表現されていない心情を捉える力を問う。浸面を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 間四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問うた。 間五 93% 95% 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 間方 77% 82% (記号) 主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 間十 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 は日子 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ		問九	44%	54%	家である筆書の持つ願望を説明させる問題。	
間一 91% 95% 惑わされない語彙力が必要。 お別れする物語。状況が捉えられれば解答は (二) ほど困難ではなかったもよう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直とを避ける気持ちに気付きたい。 間三 94% 93% 慣用的な表現の本文中における意味を問う。漫画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 接表現されていない心情を捉える力を問うた。 間四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 間五 93% 95% (記号) 主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 間方 77% 82% (記号) 主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 間七 76% 78% (公記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 間日 78% (公記号) 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ						
日二 41% 45% 2人公の心情把握問題。本心があらわになることを避ける気持ちに気付きたい。		88	010/	OE 0/		
問二 41% 45% 45% 24% 25%		[F]	3170	30%	惑わされない語彙力が必要。	
問二 41% 45% とを避ける気持ちに気付きたい。 よう。設問では傍線部の語句や登場人物の状況を手掛かりにして、本文に直接表現されていない心情を捉える力を問う。漫画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 問四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問五 93% 95% 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 同六 77% 82% 本ることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 日本 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 日本 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。					 	
10		問二	41%	45%	(11.2 2) = 1 11.7 2 11.1 2 11.2 2	
目三 94% 93% 画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないことに気付けるかを問う。 問うた。 同四 85% 89% (記号) 医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問五 93% 95% 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 問六 77% 82% おき人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 (記号) 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ					0	物の状況を手掛かりにして、本文に直
に気付けるかを問う。					〈記号〉慣用的な表現の本文中における意味を問う。漫	接表現されていない心情を捉える力を
画四 85% 89% 〈記号〉医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即して適切に読み取れているかを問う。 問五 93% 95% 〈記号〉主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 問六 77% 82% 〈記号〉主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 〈記号〉新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 の20% (記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ		問三	94%	93%	画を読んではいるが、おそらく内容は読めていないこと	問うた。
目四 85% 89% て適切に読み取れているかを問う。 同五 93% 95% 〈記号〉主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 同六 77% 82% 〈記号〉主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 〈記号〉新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 (記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ					に気付けるかを問う。	
目五 93% 95% 〈記号〉主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 同六 77% 82% 〈記号〉主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 〈記号〉新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 (記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ 〈記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ					〈記号〉医師と「ぼく」のそれぞれ思いを、本文に即し	
問五 93% 95% 〈記号〉主人公の心情把握問題。自分の状況と、周囲の人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 問六 77% 82% 〈記号〉主人公の心情把握問題。精神的に困難な状況にあることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 〈記号〉新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 (記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ		問四	85%	89%	て適切に読み取れているかを問う。	
問五 93% 95% 人々の状況を手がかりにして考える力を問う。 同六 77% 82% 本ることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 日日 2 (記号) 6人中 2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ	三					
問六 77% 82% 		胆工	020/	OE0/		
問六 77% 82% あることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 〈記号〉新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 (記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ		印五	93%	90%	人々の状況を手がかりにして考える力を問う。	
問六 77% 82% あることの適切な把握が必要。 同七 76% 78% 〈記号〉新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主人公の心情を把握できるかを問う。 (記号〉6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ					〈記号〉主人公の心情把握問題、精神的に困難な状況に	
(記号) 新参者である幼い子に対する、先輩にあたる主 1000 78% 人公の心情を把握できるかを問う。 (記号) 6人中2人は、本文の解釈が明らかに不自然だ 1000		問六	77%	82%		
問七 76% 78% _{人公の心情を把握できるかを問う。}						
日日 2 000/ 000/ 000/ 000/ 000/ 000/ 000/			7.00	700		
日日 2 000/ 000/ 000/ 000/ 000/ 000/ 000/		問七	/6%	78%	人公の心情を把握できるかを問う。	
		問八	98%	98%		
		`	55,5	55,5	と言んる。てい一八で正唯に拍摘じさるかを问り。	

◆ 2023年度中学入試 第1回 算数 正答率・問いのねらい・講評

大問	問	正智受験者	答率 合格者	問いの内容・ねらい	講評
	(1)	94%	97%	分数・小数の四則演算、逆算、工夫して計	大方よくできている。基本的な計算力があることが
	(2)	90%	92%	算することができるか。	合格の前提となる。
1	(3)	91%	95%		
	(4)	86%	93%		
	(1)①	96%	98%		典型題といって良い(1)~(3)は大方よくできているが、線分図を書くだけでは解けない(4)や、少し応用
	(1)②	82%	85%	に対する整本。原在1941円超が解りるか。	力を要する(5)②は合格者と不合格者で差が出
	(2)①	96%	99%		た。(6)の角度を求める問題も今一つである。このあたりは確実に解いておきたい。
	(2)②	82%	89%		
	(3)①	86%	93%		
	(3)②	84%	92%		
2	(4)①	62%	76%		
	(4)②	63%	77%		
	(5)①	76%	88%		
	(5)②	43%	64%		
	(6)①	67%	82%		
	(6)②	66%	82%		
3	(1)	87%	93%	指示された規則に基づき正しく演算ができるか。演算の結果から元の数を求められる	大方よくできていたが、(2)は合格者・不合格者でやや差が出た。指示通り着実に演算を重ねていけば
J	(2)	73%	85%	か。	できるはずである。
4	(1)	77%	92%	工夫して平面図形の線分の長さ、周の長さ を求めることができるか。	(1)は大方よくできていたが、合格者・不合格者でやや差が出た。(2)は弧の長さだけを求めて終わって
	(2)	40%	58%		しまった答案が目立った。
	(1)	74%	85%	速さの応用題、時間に伴う線分の長さの変 化の様子を把握できるか。	(1)は大方よくできていたが、(2)(3)となるにつれ正答率が低くなった。まず進行方向が変わる時刻を抑
5	(2)	33%	51%		えることがポイントである。ここを取るか否かで合 否の差が出たと思われる。
	(3)	18%	32%		
	(1)	16%	23%	与えられた度数分布表および条件からデータの平均値、中央値、最大値等を考察でき	(1)は難問ではないが複数選択しなければならないのでそこが難しかったようだ。「以上」「未満」と
6	(2)①	65%	85%	るか。	いう言葉の意味を正確に捉えて欲しい。(2)の出来は 合否に影響したと思われる。(1)(3)は合格者もあま
	(2)②	17%	25%		りできていない。

◆ 2023年度中学入試 第2回 国語 正答率・問いのねらい・講評

_			.1.2		スプッ・ 時間
大問	問	正符 受験者	答率 合格者	問いの内容・ねらい	講評
	1	78%	82%	〈書き取り〉小学校4~6年生で習う漢字が書けるかどうかを	全体的に予想どおりの結果だった。⑥「術
	2	91%	92%	試す。Bは細部を間違える子がいるであろう「厳」や似た字	中」はやはり語彙にあるか否かの差が出た。
	3	87%	93%	を書いてしまう子がいるであろう「揮」、Cは「術中」とい	②「発揮」の「揮」を「輝」と書いてしまう
	4	92%	95%	う言葉を語彙に持っていない子がいるであろうというくらい	受験生が予想よりも少なかったことが喜ばし
_	<u>•</u>	84%		で、いずれも基本問題。「探検」は「探険」も正解とされて	い。
	6	34%	84% 44%	いる。	
	7	91%	95%		
	8	96%	96%		
	問一	71%	78%	〈記号〉筆者が挙げている具体例を確認する基本問題。	身近な「地域 へ参加していく姿勢につい
	FI] —	11%	10%	(記号) ここまでの本文の内容(全体の3分の1)をまとめた	て述べた文章。全体として簡単な分、一問一
	問二	88%	89%		問をしっかりと正解できるかどうかが、合否
	[F]—	00/0	09/0	認する。	を分けた。
				《記号》「地域」の範囲がこの後の本文で拡大して論が進ん	特に、問三と問七で合格者と全体の正答率
	問三	74%	86%	でいくことを含めて、筆者の考えを適切に読み取れているか	の平均に10%以上の差が出た。
	, , ,	1 170	0070	どうかを試す。	問三 本文が次の話題へ移った箇所に傍線を
		0.007	070/	〈記号〉接続詞の穴埋めを通して、前後の文脈の関係が把握	引き、その切り替わりと後の話題の内容把握
	問四	92%	97%	できているか確認する。	能力を試した問題。傍線にぶつかるたびに問
=				〈論述〉筆者が地域参画の方法を大きく二つにわけて捉えて	いにあたる習性をもっている受験生が、予想
	問五	± 650/	69%	いることが読み取れているかどうかを設問文を通して試し、	どおり誤った選択肢へ誘導された。 問七 昨年度まで設定していた200字意見文
	印丑	65%	09%	その二つの内容と筆者の意見を捉えられているかどうかを論	の大問を廃したかわりに新たに設定した、思
				述を通して試す、二段階の問題。	考力を問う問題。本文の主旨を正しく把握し
	問六	84%	90%	〈記号〉本文の内容になぞらえながら二次熟語の漢字の成り	て、誤った解釈をしている生徒の発言を見抜
	, ,, ,	0 170	0070	立ちを考えさせる。	く力を試した。
				〈記号〉話しあっている生徒たちの発言の内容と示した図を 日本、ナホの内容を済切に開始できまれた7877まで、世代の	
	問七	57%	67%	見て、本文の内容を適切に理解できたかを確認する。生徒の 示した図を通して追体験的に、受験生が本文の情報を正しく	
				イメージできているかどうかという思考力を問うている。	
	問一 I	93%	93%	〈記号〉語彙問題。本文中の言葉だが、単語だけ見ても解答	
		96%	98%	可能な基本問題。	母や人形の様子を追っていく文章。〔二〕と
	問一川	90%	96%	〈記号〉成長の前の場面における主人公の心情を確認する問	比べて細かい内容を問う問いが多かった。意
	問二	63%	74%	題。リード文も情報に含めて、事実の有無を確認させる。	図して設定したものなので、本校の受験生に
					はぜひ下記の点も見抜けるようになってほし
				〈記号〉精神的に成長する直前の場面の主人公の心情を確認 する問題。解答根拠となる箇所に「呻吟」という難しい言葉	
	問三	86%	90%	が混じっているが、注釈をつけているので、わからない場合	
				はこれを情報に含められるかどうかも関係する。	式の、思考力を問う問題。自分の言葉で説明
				〈記号〉主人公の周辺人物が主人公をどう見ているかを確認	
3	問四	80%	87%	する問題。短い台詞を理解するために、ここまでの情報をす	
				べて正しく理解している必要がある。	問七 女の子の成長を感じた人形の、楽観で
		4.007	F.F.0/	〈記号〉指示語の内容と婉曲的な表現の言い換えの二つを同	きないながらもその成長を喜んでいることを
	問五	46%	55%	時に試す問題。	読み取って説明する論述問題。楽観できない
	6-(1)	36%	47%	〈記号〉登場人物が断片的な言葉で自分の連想を伝えている	理由についても説明を加えなければならない
	6-(2)	74%	84%	場面を、問いに付された図を通して解釈する問題。言語化す	ことに気づけない受験生が多かった。
	6-(3)	3%	5%	る力の基盤となる思考力を試している。	
	3 (3)	J /0	J /0	〈論述〉主人公の精神的な成長を、周囲の人物の視点を通し	
	7	48%	61%	て捉える。婉曲的な表現を自分なりに言い換える表現力も必	
		1370	01/0	要。	
	I .		I		

◆2023年度中学入試 第2回 算数 正答率・問いのねらい・講評

大			字率	313X — H 1 1133	
問	問	受験者	合格者	問いの内容・ねらい	講評
	(1)	86%	90%	計算問題(四則計算、逆算、計算の工夫)。 筆算ができるか、計算のきまりを理解してい	(1)、(2)、(4)はよくできていた。
	(2)	91%	95%		(3)は、 分数と小数などが混在した逆算の問題で
1				る。	あり、正答率が低かった。小数を分数に直して計
	(3)	70%	82%		算することを意識してほしい。
	(4)	81%	88%		
	(1)①	95%	96%		(1)①の正答率は高いが、②は正答率が低くなっ
	(1)②	70%	77%	さ・面積、場合の数)。 計算力や基礎力を問う。	ている。定価で売ったときと値引きして売ったと き、 それぞれの場合の利益を明確にしておく必要
	(2)①	57%			がある。
	(2)②	57%	79%		(2)の速さの問題の正答率に関しては、 全生徒と
	(3)①	95%	99%		合格者の正答率の差が大きい。図をかいて状況を
2	(3)②	62%	79%		把握することが求められる。
2	(4)①	94%	99%		(6)①の正答率は非常に高い一方で、(6)②の正答
	(4)②	89%	94%		率が低い。表などを用いて、考えられる状況を漏
	(5)①	78%	93%		れなく数えあげられるようにする練習が必要である。
	(5)②	63%	77%		
	(6)①	96%	99%		
	(6)②	29%	46%		
	(1)	91%	98%	整数の性質。 状況を整理して数の大小を考えられるかをみ	(1)の正答率は非常に高く、2数の和の大小関係について正確に把握できている。(2)の記述に関し
3	(2) アイウ	75%	94%	る。また、その根拠を論理的に述べることが できるかをみる。	ては、伝えたい内容は分かるが十分な説明になっていない解答が多く見られた。
	(3)	66%	87%		
4	(1)	40%	54%	投票数に関する問題。 状況を整理して考えられるかをみる。	(1)から正答率が低く、(2)は空欄も目立った。このタイプの問題に関して対策をしていない受験生
4	(2)	8%	14%		が多いのかもしれない。
	(1)	31%	56%	速さとグラフ。 グラフから必要な情報を読み取り、2人の位	本校の入試では頻出の速さとグラフの問題であったが、(1)から全受験生の正答率は低い。また、
5	(2)	19%	33%	置関係を把握できるかをみる。	(1)に関しては、全受験生と合格者の正答率の差が大きい。本校の受験生には、ぜひ確実に解けて
	(3)	14%	30%		ほしい問題であった。
6	(1)	17%	31%	図形の性質、凹転数と円の中心が通っためと	(1)、(2)とも正答率が悪い。円の中心が動いてできた線を正確にかけていない可能性がある。ま
0	(2)	10%	21%	の関係性を把握できているかをみる。	た、 大問4までに時間がかかり、大問5、 6 に到達できていない受験生も見受けられた。

◆ 2023年度中学入試 第2回 理科 正答率・問いのねらい・講評

大		正答率					
問	問	受験者	合格者	問いの内容・ねらい	講評		
	(1)	77%	84%	地学分野に関する知識や思考力を問うや問	知識を問う問題は全体的によくできていた。しかし		
	(2)	27%	30%	題やいくつかの問題に関しては、既存の知	ながら、(4)と(5)問1には、全生徒の正答率と合格者 の正答率に差が見られた。また、(2)の計算問題や、		
	(3)	48%	100/		(5)問2の磁石の性質をもとにした地磁気に関する問		
	(4)	60%			題には高得点者の中でも不正解が見られた。		
1	(5)問1	52%	62%	磁気に関する問題、(6)(7)は地球の歴史に			
	(5)問2	49%	57%	関する問題となっている。			
	(6)	44%	50%				
	(7)	87%	92%				
	(8)	59%	69%				
	(1)①	71%		(1)~(3)は状態変化・溶解度の知識を確認	知識を問う問題は全体的によくできていた。ひらが		
	(1)②	93%	98%	する問題を出題した。 (4)~(7)は小学校では取り扱わない反応を	なで答えることを指定されている問題を、漢字で答え てしまうミスが見られた。(3)の溶解度の計算および		
	(2)	63%	71%	題材にしたが、溶液や気体に関する知識の	(7)の実験の結果を読み取って計算する問題で、全受		
	(3)	65%	82%	確認ならびに問題文および実験結果から必	験生と合格者の間で大きな差があった。特に(7)では		
2	(4)	92%	94%	要な情報を読み取り、結果の処理ができる	表を読み取り、反応前後の重さの変化に気づけるかが		
	(5)①	86%	91%	かどうかを問う問題を出題した。	ポイントであった。		
	(5)②	75%	85%				
	(6)	97%	97%				
	(7)①	56%	77%				
	(7)②	26%	46%				
	(1)	59%	70%		植物名や植物の基礎知識を問う前半の問題は、全体		
	(2)	47%	53%		的によくできていた。 一方、実験問題に関しては、実験結果の読み取りに関		
	(3)	95%	97%		しては特に全受験生と合格者で大きな差が見られた。		
	(4)	2%			問題の順を追って実験結果の考察をしていくような形		
3	(5)	98%			式にしたが、最後の正しい考察を選択する問題でも、		
	(6)	43%	54%	なっている。実験内容・結果を正確に読み 取り、考える力を問うものとした。	全受験生と合格者で大きな差が見られた。		
	(7)	88%	92%	47 7 7 7 8 7 1 E HJ 7 0 0 C 0 7 C			
	(8)	46%	54%				
	(9)	55%	61%				
	(1)	92%	96%	マトナ 晒 井 に しょ (1) (2) マ は	(1)・(2)力のつりあいや、てこの原理の基本的な知		
	(2)	71%	75%		識はよくできていました。(5)から正答率が下がった が、棒が落ちる条件を(5)で理解できたかどうかで、		
	(3)	58%	71%		合格者と不合格者で結果が分かれた。		
	(4)	90%		に積み重ねることができる理屈を問いなが			
4	(5)	50%	60%	ら進め、(7)・(8)で前問までの知識を複雑			
	(6)	38%	51%	な状況に適応できるかどうか問うた。			
	(7)①	23%	41%				
	(7)②	20%	32%				
	(8)	1%	3%				

◆ 2023年度中学入試 第2回 社会 正答率・問いのねらい・講評

大 1 日本	_	20234			- 	<u> </u>	<u> </u>	一回いりねりい	一种 百丁
回記 日本	大問	問			問いの内	容・ねら	いい		講評
型2(2) 411 552 図の呼呼をするものにした。まるとへを		問1X	96%	98%	日本の気候について	ては、毎年	三雨温図を	問6のような、日本の気候に関	する問題は多くの受験生が正答でき
77(2) 633		問1Y	86%					ていた。出題する場所は毎年	司様のものであるため、雨温図ではな
Manual		問2(1)	41%	51%					•
19 19 19 19 19 19 19 19		問2(2)	63%						
10		問3	44%	50%					
野		問4	46%	55%					
所名 99% 99% 回身で考えが容易を垂ねられている 所名 99% 99% の一部で考えが容易を垂れられている 所名 99% 99% から乾速する情味をしている。例料 50% 50% 18からみの周りの意味をじているかどうか。 2014 2025		問5	35%	37%					
市68 92% 96% 96% 96% 96% 96% 96% 187% 1、 「男は、関する同意を対けており、		問6A	96%	99%					
商G 57% 57% 57% 57% 57% 57% 77%		問6B	92%	96%					
際印		問6C	87%						
関7	1	問6D	88%						
類8 21% 22% 22% 10%		問7	47%						
開9(1) 53% 64%			21%	22%	を確認している。			らないようにしたい。また、彳	各都道府県がどのようなつながりを
一回			53%	64%				持っているのか関連性を導く	思考力を身に付けたい。
開10 51% 61% 61%								記述問題では、事象そのものり	こついての理解はもちろん、問7の沖
開11(1) 89% 97%								縄県の水不足に関する問題の。	ように、事実を知っているのみなら
同11(2) エ			.					ず、そのメカニズムまで理解し	しようとしているかを追究する習慣が
間12方位 57% 65% 13% 65% 同12次位 57% 65% 同12次付 57% 65% 同12次付 38% 53% 13% 38% 53% 13% 38% 53% 13% 38% 53% 13% 38% 53% 13% 38% 53% 13%		- , ,						あるかが合格者と不合格者を含	分けたと思われる。また、問12では、
同12方位 57% 65% 同12説明 38% 53% 53% 53% 同1(1) 38% 43% 人の移動や交流、物や情報などの交換 同1(2) 75% 77% 同1(3) 49% 57% する歴史の基本的な知識を習得し、定								日常にある景観から「案内図」	とはどのような目的で作られている
間12説明 38% 53% 10 11 11 11 11 11 11 1									
同1(1) 38% 43% 人の移動や交流、物や情報などの交換 同1(2) 75% 77% に関する問題を通じて、小学牧ぐ学習 が概ねできていた。一方、「その単語の内容」や「その単語の時間 1(3) 49% 57% する歴史の基本的な知識を習得し、歴 四2(1) 89% 96% 史へ大きな流れを理解しているかとと 同2(2) 84% 93% 七、絵画 図版や文字などの各種史 一方5% 79% ととら、問題全体に粘り強(向き合 同3(2) 86% 93% 一方5% 79% ととら、同題全体に粘り強(向き合 同3(2) 86% 93% 「前4(2) 0 81% 84% 同4(3) 84% 87% 同5(1) 88% 95% 同5(2) 1% 0% 同6(1) 53% 64% 同7(3) 51% 63% 同7(4) 34% 45% 同7(4) 34% 45% 同7(4) 41% 46% な知識として知っておるが、一般的 同3(2) 63% 73% な知識として知っておるが、一般的 一般の学面から設問文学 資料を可能の証にと認識であると感じた。 「第(4) 34% 45% 同7(4) 34% 45% 同7(5) 67% 74% 日 1 86% 92% 1 1 は時事的な内容であるが、一般的 第(4) 41% 46% な知識として知っておいてはしい内容である。 第(4) 72% 77% また、夏に参議院議員選挙が実施されたことについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、こま律を認定した。 1 は時事的な内容であるが、一般的 第(4) 41% 46% な知識として知っておいてはしい内容であるが、一般的 同4(2) 72% 77% また、夏に参議院議員選挙が実施されたことについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、こま律を運材として出題した選挙に関する問題の正答率が低かったことについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、こま律を定するとのではなく、その用語・事 像の理解を深めていってはしい。								語化できたかが正誤を大きく	分けた問題となった。
間1(2) 75% 77% 17%					人の移動め充法 地	物か⊧恕ナ	、どの衣摘	「畄玉た尚うストレいった甘っ	* めた学羽については、タノの三除生
間2(3) 49% 57% する歴史の基本的な知識を習得し、歴 間2(1) 89% 96% 10(2) 84% 93% 10(2) 84% 93% 10(2) 84% 93% 10(2) 84% 93% 10(2) 84% 93% 10(2) 84% 10									
同2(1) 89% 96% 大きな流れを理解しているかとと 間2(2) 84% 93% もに、絵画・図版や文字などの各種史 間2(3) 22% 26% 料だけでなく、設開文をのものも史料 に並いているのとと 間3(1) 75% 79% ととらえ、問題全体に粘り強く向き合 間3(2) 86% 93% 同4(2)C 83% 94% 同4(2)C 83% 94% 同4(2)C 83% 94% 同5(1) 53% 64% 同7(2) 69% 78% 同7(2) 69% 78% 同7(2) 69% 78% 同7(3) 51% 63% 同7(4) 34% 45% 同7(5) 67% 74% 同3(2) 63% 73% 同3(2) 63% 73% 同3(2) 63% 73% 同5(2) 63% 73% 同5(2) 75% 88% 同7(3) 51% 同5(3) 1 4% 22% 日5(2) 46% 58% 同5(2) 75% 85% 同5(3) 1 4% 22% 日5(3) 1 4% 22% 日5(3									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
間2(2) 84% 93% もに、絵画・図版や文字などの各種史料だけでなく、設問文名のものも史料 読み取ろうとする姿勢が全受験生のなかでは高かったと思われる。資料を通じてこれまで学習してきた「常識」を問い直す問題では、		- ' '							
間2(3) 22% 26% 特だけでなく、設間文をのものも契料 読み取ろうとする姿勢が全受験生のなかでは高かったと思われる。		. , ,							
問3(1) 75% 79% 2とらえ、問題全体に粘り強く向き合 資料を通じてこれまで学習してきた「常識」を問い直す問題では、多くの受験生が「常識」を解答しており、日頃の学習から設問文や 資料を丁寧に読み取るといった取り組みがを行うなど、学習習慣の 関格(2)								読み取ろうとする姿勢が全受験	倹生のなかでは高かったと思われる。
問3(2) 86% 93% い、適切に読み解くことができるかど 万を開きた。 日4(1) 90% 96% 日4(2) 83% 94% 日4(2) 81% 84% 日4(2) 81% 84% 日5(2) 1% 0% 日5(2) 1% 0% 日5(3) 14% 22% 日								資料を通じてこれまで学習し~	てきた「常識」を問い直す問題では、
間4(1) 90% 96% 間4(2) C 83% 94% 間4(2) D 81% 84% 間4(3) 84% 87% 間5(1) 88% 95% 間5(1) 53% 64% 間6(1) 53% 64% 間7(1) 62% 70% 間7(2) 69% 78% 間7(3) 51% 63% 間7(4) 34% 45% 間7(5) 67% 74% 間2 88% 94% 間3(1) 53% 62% 間3(2) 63% 73% 間4(1) 41% 46% 間4(2) 72% 77% 間5(1) 39% 51% 間5(2) 46% 58% 間5(2) 46% 58% 間5(3) 14% 22% Prove III (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2				93%	い、適切に読み解	くことがて	ごきるかど	多くの受験生が「常識」を解答	答しており、日頃の学習から設問文や
同4(2)		. , ,						資料を丁寧に読み取るといっ7	た取り組みがを行うなど、学習習慣の
間4(3) 84% 87% 問5(1) 88% 95% 同5(2) 1% 0% 同6(1) 53% 64% 同6(2) 75% 88% 同7(1) 62% 70% 同7(2) 69% 78% 同7(3) 51% 63% 同7(4) 34% 45% 同7(5) 67% 74% 同1 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材 門1 86% 92% に出題した。 同1 1 85% 62% 同1 1 は時事的な内容であるが、一般的 同3(1) 53% 62% 同1 1 は時事的な内容であるが、一般的 同3(2) 63% 73% な知識として知っておいてほしい内容 である。 また、夏に参議院議員選挙が実施された。		問4(2)C	83%	94%				見直しが必要であると感じた。	
問5(1) 88% 95% 問5(2) 1% 0% 問6(1) 53% 64% 問6(2) 75% 88% 問7(1) 62% 70% 問7(2) 69% 78% 問7(3) 51% 63% 問7(4) 34% 45% 問7(5) 67% 74% である。 間3(1) 53% 62% 問3(2) 63% 73% 同4(1) 41% 46% 問4(2) 72% 77% 問5(1) 39% 51% 問5(2) 46% 58% 問5(3) 14% 22% で確認した。	2	問4(2)D	81%	84%					
問5(2) 1% 0% 問6(1) 53% 64% 問6(2) 75% 88% 問7(1) 62% 70% 問7(2) 69% 78% 問7(3) 51% 63% 問7(4) 34% 45% 問7(5) 67% 74% 問1 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材 問2 88% 94% に出題した。 問3(1) 53% 62% 問1 は時事的な内容であるが、一般的問3(2) 63% 73% 同3(2) 63% 73% 同4(1) 41% 46% 問4(2) 72% 77% 同5(1) 39% 51% 問5(3) 14% 22% で基本的な知識を複数間にわたって確認した。		問4(3)	84%	87%					
問6(1) 53% 64% 問6(2) 75% 88% 問7(1) 62% 70% 問7(2) 69% 78% 問7(3) 51% 63% 問7(4) 34% 45% 問7(5) 67% 74% 問1 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材 に出題した。 問2 88% 94% に出題した。 問3(1) 53% 62% 問1 は時事的な内容であるが、一般的 問3(2) 63% 73% な知識として知っておいてほしい内容 おんことから、選挙の仕組みについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、活作、夏に参議院議員選挙が実施されたことについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、活作、夏に参議院議員選挙が実施されたことについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、活作、夏に参議院議員選挙が実施されたことから、選挙の仕組みについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、活作、夏に参議院議員選挙が実施されたことがら、選挙の仕組みについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、活作、夏に参議院議員選挙が実施されたことから、選挙の仕組みについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、活作案や憲法改正の発護の要件など、丁寧な知識の整理ができていなかったようで、この問5は合否を分ける問題となったと思われる。単語の意味を問う問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。		問5(1)	88%	95%					
問 6(2) 75% 88% 問 7(1) 62% 70% 問 7(2) 69% 78% 問 7(2) 69% 78% 問 7(3) 51% 63% 問 7(4) 34% 45% 問 7(5) 67% 74% 問 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材		問5(2)	1%	0%					
問7(1) 62% 70% 問7(2) 69% 78% 問7(3) 51% 63% 問7(4) 34% 45% 問7(5) 67% 74%		問6(1)	53%	64%					
問7(2) 69% 78%		問6(2)	75%	88%					
間7(3) 51% 63% 間7(4) 34% 45% 間7(5) 67% 74% 間1 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材 に出題した。 多くの受験生が基本的な用語及び国会や内閣の仕組みは概ね理解で いていた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選 学を題材として出題した選挙に関する問題の正答率が低かったこと については、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、法律案や憲法改正の発議の要件など、丁寧な知識の整理ができていなかったようで、この問5は合否を分ける問題となったと思われたことから、選挙の仕組みについては、同ち(2) 本た、夏に参議院議員選挙が実施された たことから、選挙の仕組みについては 間5で基本的な知識を複数問にわたって確認した。 本の意味を問う問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。		問7(1)	62%	70%					
問7(4)34%45%問7(5)67%74%問186%92%2022年上半期にあったニュースを題材 (に出題した。多くの受験生が基本的な用語及び国会や内閣の仕組みは概ね理解で いていた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選 学を題材として出題した選挙に関する問題の正答率が低かったこと については、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、 法律案や憲法改正の発議の要件など、丁寧な知識の整理ができていなかったようで、この問5は合否を分ける問題となったと思われる。単語の意味を問う問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低 くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。		問7(2)	69%	78%					
間7(5) 67% 74% 間1 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材に出題した。 多くの受験生が基本的な用語及び国会や内閣の仕組みは概ね理解でいていた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していていた。しかし、その一方で、今年度に実施された参議院議員選別に対していては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、法律案や憲法改正の発議の要件など、丁寧な知識の整理ができていなかったようで、この問5は合否を分ける問題となったと思われたことから、選挙の仕組みについてはにあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。		問7(3)	51%	63%					
問1 86% 92% 2022年上半期にあったニュースを題材 88% 94% に出題した。		問7(4)	34%	45%					
問2 88% 94% に出題した。		問7(5)	67%						
問3(1) 53% 62% 問1は時事的な内容であるが、一般的 同3(2) 63% 73% な知識として知っておいてほしい内容 である。 同4(1) 41% 46% 日4(2) 72% 77% 同5(1) 39% 51% 同5(2) 46% 58% 同5(3) 14% 22% 日4(5) 14% 22% 日1 は時事的な内容であるが、一般的 学を題材として出題した選挙に関する問題の正答率が低かったことについては、国政選挙と地方公共団体における被選挙権の違いや、法律案や憲法改正の発議の要件など、丁寧な知識の整理ができていなかったようで、この問5は合否を分ける問題となったと思われる。単語の意味を問う問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。		問1	86%			ったニュー	-スを題材		
13 13 13 14 15 15 15 15 15 15 15		問2	88%						
3問4(1)41%46% 目4(2)である。 また、夏に参議院議員選挙が実施され たことから、選挙の仕組みについては 問5(2)法律案や憲法改正の発議の要件など、丁寧な知識の整理ができていなかったようで、この問5は合否を分ける問題となったと思われる。単語の意味を問う問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。同5(3)14%22%		問3(1)	53%	62%	問1は時事的な内容	容であるか マー・・	、一般的		
3問4(1)41%46%問4(2)72%77%問5(1)39%51%問5(2)46%58%問5(3)14%22% また、夏に参議院議員選挙が実施されたことのいては問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。		問3(2)	63%	73%		ておいてほ	はしい内容		
問4(2) 72% 77% 問5(1) 39% 51% 問5(2) 46% 58% 問5(3) 14% 22% おんで変わる機能は変とする人間といってはであったとあったとあったとあったとあったという。 る。単語の意味を問う問題(今年度の場合は「与党」)は正答率が低くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。	ာ	問4(1)	41%	46%	-	送日/85米((中华ナム		
問5(1) 39% 51% 問5で基本的な知識を複数問にわたっ間5(2) くなる傾向にあり、ただ単語を暗記するのではなく、その用語・事象の理解を深めていってほしい。 問5(3) 14% 22%	3	問4(2)	72%	77%					
問5(2) 46% 58% 同5(3) 14% 22% の理解を深めていってほしい。		問5(1)	39%	51%					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
問5(3) 14% 22%		問5(2)	46%	58%		194, 亡 友女 口	1,1C1/1C1/		
問6 出題ミスにより全員正解		問5(3)	14%	22%	- FEBD 0/C0			S. M. Z. Z. M. C. M. S. C. M. D. C. M.	- v
		問6	出題ミスに。	より全員正解					

◆ 2023年度中学入試 第3回 国語 正答率・問いのねらい・講評

大			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		на учин
問	問	受験者	合格者	問いの内容・ねらい	講評
[1]	1	97%	97%	〈書き取り〉小学校4~6年生で習う漢字が書けるかどう	全体的に予想どおりの結果だった。特によく識別機
	2	90%		(青さ取り/ 小子校4~0年生で百り戻子が青りっかと) かを試す。すべて基本的な問題であるが、「興味」や	
	3	83%	100%		能を果たしたと考えられる漢字は「預金」「民衆」 である。「預金」については、語彙に持っていたか
	4	98%			
_	<u>4</u>)	93%	100%	とが難しい漢字をBに設定した。	とうかが正否を分けたものと考えられる。「民衆」
	6	61%	63%		については「衆」そのものの漢字の難しさが正否を
	7	89%	100%		分けたものと考えられる。
	8	90%	93%		
	0	3070	3370	 〈記号〉傍線を含む段落を本質的に理解できているか確	 今日の科学 によって解ける問題と解けない問題が
	問一	55%	80%	認する。	あることを説明した文章。〔三〕と比べると全体と
					して難しかった分、論述を正確に解答できるかとか
	問二	59%	67%	把握できているか確認する。	どうかが、合否を分けるポイントとなったといえ
				○記号 ◇ 本文の順序整理を通して、論理構造を理解でき	
	問三	44%	63%	(ころ) 本文の順序登柱を通じて、調理構造を理解できているか確認する。	る。
	問四	66%	63%		問一 傍線を含む段落を本質的に理解できているか
	同四	00%	03/0	(1.2.2, 1.3.2)	確認する問題。記号問題のなかでは、受験者正答率
	門工	760/	0.20/	《記号》ここまでの本文の内容(全体の2分の1)を具体	と合格者正答率の乖離が最も大きく見られた。
	問五	76%		例に落とし込んだ一文に傍線を引いて、内容を正しく理	問九 昨年度まで設定していた200字意見文の大問
				解できたかどうかを確認する。 〈論述〉科学とはどういうものとされており幽霊は何故	を廃したかわりに新たに設定した、思考力を問う問
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	題。本文の主旨を正しく把握して、誤った解釈をし
=	問六	36%	100%	それに合致しないのか、について理解できているか確認	ている生徒の発言を見抜く力を試した。
				すると同時に、それを論理的に説明する力があるかを試	
				す、二段階の問題。	
	88 L-	770/	070/	〈記号〉本文終盤の内容(全体の5分の1)のきっかけと	
	問七	77%	97%	なる一文に傍線を引いて、内容を正しく理解できたかど	
				うかを確認する。	
	88 3	E10/	600/	〈記号〉空欄補充を通して、本文全体と本文終盤の関係	
	問八	51%	60%	性を理解しているかどうか、および難しい語彙に対して	
				意味を推測する力があるかどうかを確認する。	
				〈記号〉話しあっている生徒たちの発言を通して、本文	
	問九	61%	61% 67%	の内容を適切に理解できたかを確認する。受験生が本文	
				の情報を俯瞰して理解できているかどうかという思考力	
				を問うている。	
	間一 I	98%	100%	〈記号〉本文中での語句の意味を確認する基本問題。	小学生の男の子が同級生や先生との関わりを通じて 成長していく様子を追っていく文章。 〔二〕と比べ
	間一	95%	100%	〈記号〉本文中での語句の意味を確認する基本問題。	成長していく様子を追っていく又卓。 [一] と比へ ると全体としてやや簡単な分、一問一問をしっかり
	問二 i	700/	93%	〈記号〉大島先生の人物像を指定の場面から判断できて	と正解できるかどうかが、合否を分けるポイントと
		78%	33%	いるか確認する問題。	なったといえる。
				〈記号〉大島先生とのやり取りで、主人公が気持ちのや	問三 場面転換を挟む主人公と主人公の母の台詞が
	問二 ii	87%	93%	り場に困っていることを読み取れているかを確認する問	持つ役割について答える問題。主人公が学校で行っ
				題。	たことが、家庭で主人公に返ってくることになった
				〈記号〉主人公が学校で行ったことが、家庭で主人公に	展開から、物語を俯瞰して見る力を問うた。
	問三	77%	87%	返ってくることになった展開から読み取れる事柄を理解	間七 〔二〕と同様に、昨年度まで設定していた
Ξ				できているか確認する。	200字意見文の大問を廃したかわりに新たに設定し
	88.00	40/	00/	〈論述〉主人公の心情を、情景描写を手掛かりに論述す	た、思考力を問う問題。本文の主旨を正しく把握し
	問四	4%	8%	る力があるかどうかを確認する。	て、誤った解釈をしている生徒の発言を見抜く力を
	88 7	E00/	C001	〈記号〉主人公の心情の変化を情景描写などから把握で	試した。
	問五	58%	60%	きているか確認する。	
	睭土	700/	000/	〈記号〉「ジャングル」という存在が持つ作中での意味	
	問六	73%	83%	を、捉えることが出来ているか確認する。	
				〈記号〉話しあっている生徒たちの発言を通して、本文	
				の内容を適切に理解できたかを確認する。受験生が本文	
	問七	82%	83%	の情報を俯瞰して理解できているかどうかという思考力	
				を問うている。	
<u> </u>	I				

◆ 2023年度中学入試 第3回 算数 正答率・問いのねらい・講評

_			J / \	30D 750 EBT 100 0	
大問	問	正智 受験者	答率 合格者	問いの内容・ねらい	講評
	(1)	94%	100%	【計算問題】整数や分数、小数の基本的な四則計算を正確に処理する力を持っているか。	(1)の整数の四則計算は全員が良くできていた。 (4)は四捨五入の基本的な考え方だが、不合格者
	(2)	84%	90%	弁で正確にだなりるがでいっているが。	の正答率が56.8%と、合格者の正答率と大きな差
1	(3)	83%	87%		が出た。
	(4)	60%	90%		
	(1)①	91%	100%		(2)割合、(5)比、(6)図形で全体の正答率がやや下
	(1)②	88%	97%	齢算、比、図形の、典型的な問題を、しっかりと 考え、確実に処理できる力を持っているか。	がった。細かな計算が必要となるため、途中でミスしたものと思われる。
	(2)①	74%	93%		(6)②の、紐の先端が辿る道のりの長さは、計算 の工夫をすることでミスを防ぐこともできる。
	(2)②	73%	97%		の工大をすることでく人を励くこともできる。
	(3)①	90%	97%		
2	(3)②	66%	93%		
	(4)①	76%	90%		
	(4)②	73%	93%		
	(5)①	71%	93%		
	(5)②	66%	83%		
	(6)①	94%	100%		
	(6)②	39%	67%		
3	(1)	69%	90%	件から、底面積比や水の量を止確に捉えられる	(2)の不合格者の正答率は10.8%であり、公式はただ使うだけでなくその意味を深く理解すること
	(2)	14%	50%	か。	も大事である。
	(1)	74%	90%	【整数】2枚のカードを組み合わせてできる整数 の個数を、文章の意味を理解して正しく求められ	
4	(2)	61%	90%	るかどうか。	い文章でも、その考えを正しく伝えられるかがポ イントである。
	(3)	17%	43%		
5	(1)	77%	100%		は難しくないが、問題文から状況を読み取る力が
	(2)	24%	77%	か。	必要であった。
	(1)	12%	43%	【速さとグラフ】2台のバスが走る様子をグラフから読み取り、必要な値を計算し求めることがで	
6	(2)	11%	37%	きるかどうか。	解しないと解けないので、正答率が低かった。
	(3)	2%	17%		

◆2023年度中学入試 第3回 理科 正答率・問いのねらい・講評

大	大		率			
問	問	受験者	合格者	問いの内容・ねらい	講評	
	(1)	29%	47%	(1)~(6)は、手回し発電機のハンド	全体として、正答率が非常に低かった。複数解答であっ	
	(2)	17%	30%	ルのまわし方によって生じる電流	た影響が大きいと考えらる。	
	(3)	34%	30%	の向きが異なることを基本にし	(1)は3つの選択肢のすべてを検討していないと思われる	
	(4)	4%		て、与えられた情報を整理して解	解答が多くあった。[1]の他の問題も同様の傾向があると同	
				答を導き出すことができるかを確認する問題であった。	時に、問題文から接続の仕方を整理することが受験生に とって非常に難しかったようである。(7)は、基本的な内容	
	(5)	40%		(7)~(11)は、身のまわりにある道	であったが問題文の空欄に当てはまるように注意をして正	
1	(6)	8%	17%	具を題材にして、てこのしくみを	解してほしい問題であった。(11)は、左端を支点と書いて	
	(7)	62%	73%	理解できているかを問う問題で	あることを読み取れていなかった解答が目立った。	
	(8)	42%	50%	あった。	教科書には、理科で学ぶことが生活の中のどのようなも	
	(9)	9%	30%		のに関係しているのかの例が取り上げられている。身近な	
	(10)	17%	47%		理科を意識して、日常生活を送ってみてほしい。	
	(11)	28%	43%			
	(1)	74%	80%	多くが火山をテーマにした地学の	(1)、(2)、(3)③、(4)、(5)、(8)は地学の基本的な問題であ	
	(2)	69%	80%	基本的な問題であり、ハザード	り、多くの受験生が正答できていた。(7)は火山灰の特徴で	
	(3)②	45%	80%	マップなど安全面などについても	あり、もっとできて欲しかった基礎的な問題であったが、	
	(3)③	91%	90%	幅広く学習をしているかを問うも	正答率が低かった。また(3)②や(6)については、地学の応用	
2	(4)	72%	87%	のを出題した。また火山から、物	的な問題であり、正答率はぐっと下がっている。より発展	
	(5)	79%	90%	理的や生物的や化学的な解釈がで きるか、最後の問題は美術的な内	的な問題で、太陽と地球の動きまで考えさせる問題の(9) は、多くの生徒ができていなかった。教科書をしっかり学	
	(6)	56%	70%	容にもからめて総合的な力を確認	ぶことと、探究的なトピックについても、興味をもって自	
	(7)	26%	30%	する問題となっている。	分自身の生活と照らし合わせ、考える力を高めてもらいた	
	(8)	60%	70%		いです。	
	(9)	32%	37%			
	(1)T1	94%	100%	_	$(1)\sim(3)$ および (5) は基本的な問題であり、多くの受験生が	
	(2)T2	78%		をテーマとした化学分野の問題で	正解できていた。そのような中、(1)の水が沸騰する温度や	
	(2)	87%		あった。前半は小学校でも学ぶ状 態変化の基本的な知識を問う問い	(5)の固体から気体に変化する例を問う問題の正答率に全受験生と合格者の間で大きな差があった。	
	(3)	67%	63%	を出題した。後半は小学校では直	その他は思考力を問う問題であるが、(6)、(7)の図を読み取	
3	(4)	61%	80%	接取り扱わない内容も多かった	る問題の正答率が合格者はとても高かった。	
	(5)	73%		が、文章やグラフをきちんと読み		
	(6)	33%		取ることできれば解答できる思考		
	(7)	39%		力を問う問題であった。		
	(8)	40%	57%			
	(9)	8%	23%	野州等の体い大名。 布洗紙票に問	甘木的か知識を問う問節にかいては、	
	(1)	62% 76%		顕微鏡の使い方や、血液循環に関する基本的な知識を問う問題と、	基本的な知識を問う問題においては、合否関係なく正答率 が高かった。ただ、(6)においては全体的に正答率が低く	
	(3)	49%		問題文を読み解く読解力を図る問	「毛細血管」という語句を文章中から抜き出すことが難し	
	(4)(1)	49% 85%	100%	題と出題している。読解力を図る	かったといえる。また、読解力を問う問題で、合否に影響	
	(4)(2)	75%		問題は、小学校で取り扱わない内	を与えた。ただ知識を詰め込むのではなく、日頃から丁寧	
4	(5)	59%	77%	容であり、文章と問題の意味を正	に文章を読み解く練習が必要ある。	
	(6)	10%	17%	確に読みとる必要がある。		
	(7)	70%	79%			
	(8)	8%	17%			
	(9)	35%	43%			
Щ_	\ - /	5075	.0,0			

◆ 2023年度中学入試 第3回 社会 正答率・問いのねらい・講評

大		正名	*		
問	問	受験生	合格者	問いの内容・ねらい	講評
ΙΗJ	BB1 /1 \				BB1/1
	問1(1) 問1(2)	65% 28%	83%	「なぜ地理を学ぶ必要があるのか」をテーマにし	問1(1)・問1(3)・問4のような基本的な知識・技
	問1(3)	71%		たリードを読み進める中で、基礎的知識・技能、	能に関する問題はよくできていた。また、問
	問1(4)	100%	100%		3(2)のような本校でよく出題される資料に関す
	問2(1)	53%	50%	う内容とし、自然環境、県の位置、工業、人口、	る問題もよくできていた。受験生の学習の成果
	問2(2)	70%	77%	農業、貿易など幅広く出題した。資料の読み取り	を感じることができた。一方で問1(2)や問5、
	問2(3)	88%	80%	については学習してきた知識と資料とを関連づけ	問8のように、図中や問題文中に判断材料とな
	問2(4)	62%	67%	て考えられるか、また、地理的事象の背景・関連	る事柄がある場合、それらに留意できなかった
	問3(1)	47%		性について問う正誤問題では文や資料を適切に読	受験生が多かった。問題文を丁寧に読み、そこ
1	問3(2)東	86%		み取れるかを意図して作問した。	からヒントを得られた受験生は対応できたと思
	問3(2)余	56%	73%		われる。
	問3(3)	47%	60%		
	問3(3) 問4ア	77%	83%		
	問4工	84%	97%		
	問5	43%	52%		
	問6	26%	38%		
	問7	64%	83%		
	問8	37%	45%		
	問1	85%		設問を通して、小学校で学習する歴史の基本的な	基本的な知識や用語を選択させる設問の正答率
	問2	86%		知識を習得しているか、歴史の大きな流れを理解	は高かった。また、基本的な時代整序にも近現
	問3	67%			代史を除いて正答率が高かった。資料(史料)
	問4	92%	070/		
	問5	54%	70%	識に向き合い、活用する力を問うため、設問文を	の読み取りや考察にも対応できる受験生が多
	問6	89%	100%	読みながら各時代の特徴を読み取り、判断する設	かった。記述問題にも取り組んだ受験生が多
	問7	85%	83%	問を出題した。	かった。一方で、正誤の組合せを判断させる設
	問8	83%	100%		問の正答率は低い傾向がみられた。歴史的な事
	問9	87%	90%		象についての内容や因果関係を問う設問の正答
	問10	52%	53%		率も低い傾向にあった。
	問11	79%	73%		
2	問12	97%	97%		
	問13	87%	97%		
	問14	78%	93%		
	問15	76%	90%		
	問16	91%	93%		
	問17	48%	47%		
	問18	51%	60%		
	問19	71%	77%		
	問20	56%	53%		
	問21	88%	93%		
	問22	55%	50%		
	問1	35%		沖縄の本土復帰50周年にちなんで、沖縄の米軍基	多くの受験生は三権に関する基本的な知識は多
	問2	16%	23%	地問題をテーマとして問題を作成した。問題は主	くの受験生は身に着けており、正答率が高か
	問3	53%	63%	に3つの種類で構成されている。1つは、内閣や	かったが、地方自治については差が出る結果と
				地方自治、人権など公民的分野の一般的な知識を	なった。時事に関するデータから判断する正誤
	問4	53%	47%	問う問題。2つ目は沖縄に関する時事的な知識に関	判定問題は大きな差が出た一方、普天間基地の
3	問5	47%	43%	する問題。3つ目は問題で提示されたデータやリー	
3	問6	73%	87%		く出来ていた。受験生には時事ついての知識を
	問7	80%			ただ暗記するのではなく、その問題に関する情
					報から考える力を日頃から養ってほしい。
	問8	92%			TKW グラベック と日央ルグ良ノ(はしv 'o
	問9	49%		からの情報を組み合わせて考える力を問う問題構	
	問10	19%	40%	成とした。	
	<u> </u>				1